

主要施策（2）災害に強い施設整備の推進

主な取組名 ① 浄・給水場等の耐震化の推進

主な事業名	印旛取水場～柏井浄水場間の調圧水槽の耐震化、船橋給水場配水池の耐震化【浄水課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
673,925						
達成指標	(ア) 設備耐震化工事の実施			達成状況		
<p>【R6 年度事業計画】</p> <p>水を送水する際に管の中の圧力を調整している調圧水槽、一時的に貯水し安定した給水を行うための配水池等について、耐震診断および経年劣化等の状況を踏まえた耐震化を進めていきます。</p> <p>令和6年度は、印旛系2号調圧水槽耐震化工事と印旛系1号調圧水槽耐震化工事を完了します。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>【今後の具体的取組】</p>	計画	R3	R4	R5	R6	R7
		印旛系2号調圧水槽耐震化工事設計委託の完了	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系1号調圧水槽耐震化工事の着手	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の完了 印旛系1号調圧水槽耐震化工事の完了	—
		—	船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の完了	—	
実績	—	印旛系2号調圧水槽耐震化工事の着手	船橋給水場1号配水池耐震化工事の着手			

主な取組名 ② 管路の耐震化の推進

主な事業名	铸铁管更新工事（再掲）【給水課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)		
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計
28,400,000 (再掲)						
達成指標	(イ) 湾岸埋立地域の管路更新延長			達成状況		
<p>【R6 年度事業計画】</p> <p>東日本大震災の際に液状化が発生し、甚大な被害が生じたことを踏まえ、湾岸埋立地域については、大口径管路から分岐している主要な管路等を中心に耐震化を進めます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>【今後の具体的取組】</p>	計画	R3	R4	R5	R6	R7
		26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年	26.5km /年
	実績	28.7km /年	28.2km /年			

主な事業名 鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】									
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
28,400,000 (再掲)									
達成指標	(ウ) 最重要給水施設管路の更新延長			達成状況					
【R6 年度事業計画】 重要給水施設管路のうち、最重要給水施設に位置づけた「災害拠点病院」及び「災害医療協力病院」並びに「防災拠点」に供給する管路の耐震化を進めます。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	2.0km /年	6.0km /年	8.0km /年	8.0km /年	8.0km /年
				実績	1.9km /年	4.5km /年			

主な事業名 鋳鉄管更新工事（再掲）【給水課】									
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)					
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計			
28,400,000 (再掲)									
達成指標	(エ) 小中口径管の更新延長（再掲）			達成状況					
【R6 年度事業計画】 近い将来に発生が懸念される首都直下地震等の大規模地震に備え、湾岸埋立地域の管路や、病院・防災拠点等の重要給水施設への管路を優先するとともに、強度が低下するおそれや赤濁水の発生が懸念される管路等について更新します。 【事業の実施状況】 【達成状況の分析及び課題】 【今後の具体的取組】					R3	R4	R5	R6	R7
				計画	80km /年	80km /年	80km /年	80km /年	80km /年
				実績	73.5km /年	80.0km /年			

主な事業名		大口径管路更新工事（一抔栗山～船高線他）（再掲）【給水課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
3,039,090(再掲)							
達成指標		(オ) 大口径管路更新の実施（再掲）			達成状況		
<p>【R6 年度事業計画】 ダクタイル鋳鉄管※よりも強度が低い高級鋳鉄管※を使用した大口径管路について、重要度及びバックアップの可否を評価基準とした優先順位を付けて更新を進めます。 令和6年度は、一抔園生～登戸線、一抔船高～園生線、園生～小倉線、藤崎～袖ヶ浦団地線の4路線において、計8件の工事に着手します。</p> <p>※ダクタイル鋳鉄管：高級鋳鉄管より管体強度が高く、耐震性に優れている水道管で、現在、県営水道で主に使用している。 ※高級鋳鉄管：昭和5年から昭和46年頃まで製造された水道管で、ダクタイル鋳鉄管より管体強度が弱く、耐震性が低い。県営水道では、昭和40年頃まで布設し、現在でも一部に使用している。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>【今後の具体的取組】</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	3 路線・ 計 5 件の 工事着手	5 路線・ 計 7 件の 工事着手	5 路線・ 計 8 件の 工事着手	4 路線・ 計 8 件の 工事着手	5 路線・ 計 9 件の 工事着手		
実績	2 路線・ 計 2 件の 工事着手	2 路線・ 計 3 件の 工事着手					

主な事業名		基幹管路の整備（第二木下～柏井導水管）（再掲）【計画課】					
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)			
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計	
379,284(再掲)							
達成指標		(カ) 基幹管路の整備の推進（再掲）			達成状況		
<p>【R6 年度事業計画】 既設導水管を運用しながら代替管路を整備し、老朽化対策・耐震化を図ることで安定給水を確保することを目的として、第二木下～柏井導水管の整備を進めます。 令和6年度は、現在実施中である第6工区・第7工区の実施設計業務委託等の着実な進捗を図っていきます。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>【今後の具体的取組】</p>							
		R3	R4	R5	R6	R7	
計画	実施設計業務委託の完了 (第3工区)	実施設計業務委託の完了 (第5工区)	実施設計業務委託の完了 (第8工区)	実施設計業務委託の完了 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第4工区)		
実績	実施設計業務委託の着手 (第6工区・第7工区)	実施設計業務委託の完了 (第3工区・第5工区)					

主な取組名 ③ 停電・浸水対策等の強化

主な事業名		浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 非常用自家発電設備用燃料の確保【浄水課】						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計		
14,529,831(※)								
達成指標	(キ) 自家発電設備の増強施設数（再掲）				達成状況			
<p>【R6 年度事業計画】</p> <p>大規模な停電時においても、安定して水を供給できるように、浄・給水場における非常用自家発電設備の増強（72 時間対応へ）を実施します。</p> <p>令和6年度は、木下取水場、柏井浄水場、姉崎分場、北習志野分場、妙典給水場、成田給水場、北船橋給水場、松戸給水場、沼南給水場、印旛取水場、幕張給水場、福増浄水場、高滝取水場、千葉分場、千葉配水場、大宮分場、船橋給水場における非常用自家発電設備の増強が完了します。</p> <p>※一部再掲 浄・給水場等の非常用自家発電設備、燃料用タンクの整備（再掲） 14,517,335（千円）</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>【今後の具体的取組】</p>								
				R3	R4	R5	R6	R7
計画	0 施設 /累計 (5 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (左記 6 施設の 工事着手)	3 施設 /累計 (左記 14 施設の 工事着手)	20 施設 /累計	—			
実績	0 施設 /累計 (4 施設の 工事着手)	0 施設 /累計 (2 施設の 工事着手)						

主な事業名		計装設備の電源強化、大型土嚢等の設置、防水扉等の設置【浄水課】						
R6 年度予算額(千円)				R6 年度決算額等(千円)				
R6 当初予算	R6 最終予算	R5→R6 繰越	計	決算額	R6→R7 繰越	計		
-								
達成指標	(ク) 計装設備の電源強化施設数及び浸水対策施設数				達成状況			
<p>【R6 年度事業計画】</p> <p>平成 30 年に発生した北海道胆振東部地震による大規模停電や令和元年房総半島台風による停電・浸水被害などの状況を踏まえ、非常用自家発電設備の強化及び浸水対策に取り組みました。</p> <p>【事業の実施状況】</p> <p>【達成状況の分析及び課題】</p> <p>【今後の具体的取組】</p>								
				R3	R4	R5	R6	R7
計画	3 施設 /累計	9 施設 /累計	—	—	—			
実績	3 施設 /累計	9 施設 /累計						